第２号様式（指定）**〈対象自動車の種類〉、〈業務の範囲〉を変更した場合の記入例**

指定自動車整備事業の変更（届出・申請）書

捨

中国運輸局長

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

対象とする自動車の種類、業務の範囲を変更する場合は、申請に○を記載

押印・捨印があれば訂正が可能ですので、ご協力ください

道路運送車両法等の規　　届出・申請

(注)届出にあっては「届出」、申請にあっては「申請」の文字に○を記載すること。
(注)該当しない項目は記載を省略することができる。（全ての項目に共通）

(注)必要に応じて、記載枠を追加・拡大または削除・縮小することができる。（全ての項目に共通）

（ふりがな） 届出者 申請者 の氏名又は名称	かぶしきかいしゃ　○○○○ **株式会社○○○○　代表取締役　○○　○○**　代表
届出者 申請者 の住所	**○○県○○市○○町○○－○－○**
電話番号	０８３－２２８－００００
（ふりがな） 事業場の名称	かぶしきかいしゃ　○○○○　○○えいぎょうしょ **株式会社　○○○○　○○営業所**
事業場の所在地	**○○県○○市○○町○○－○－○**
電話番号	０８３－９２２－００００
指定番号	山－０００－１２３４５６７８９

届出・申請の変更内容		変更年月日	令和 ○ 年 ○ 月 × 日	
	完成検査場の位置又は面積	○	対象とする自動車の種類	【変更申請】
	自動車検査用機械器具設備	○	業務の範囲の限定	【変更申請】
	自動車検査用機械器具設備（共用設備）			

(注)□枠内の該当するものに○を記載すること。

１-①　対象とする自動車の種類の変更

対象自動車の種類の別		普通自動車（大型）	○	小型四輪自動車
	◎	普通自動車（中型）	×	小型三輪自動車
	○	普通自動車（小型）	○	小型二輪自動車
	○	普通自動車（乗用）	○	軽自動車
		大型特殊自動車		

(注)□枠内の該当するものに、追加をするものは◎を、廃止をするものは×を、変更がないものは○を記載すること。

（例）対象を【普通（小）～軽】から【普通（中）】を追加し、【小型三輪】を廃止した場合

１-②　業務の範囲の限定（指定）の変更

業務の範囲の限定の別	×	軽油を燃料とする
		ガソリン又は液化
		カタピラ付大型特殊
		その他（　　）

(注)□枠内の該当するものに、限定の申請をするものは◎を、限定の解除をするものは×を、変更がないものは○を記載すること。

（例）「軽油を燃料とする自動車を除く」を解除し、業務の範囲の限定を「なし」に変更申請した場合

2　工員の構成

工員等の作業の別	合計（工員数）	整備士数（特殊整備士を除く）			整備士以外の工員及び特殊整備士数
		一　級	二　級	三　級	
自動車工（検査）	人	人	人	人	人
自動車工（整備）	人	人	人	人	人
その他（板金工等）	人				

（注）その他（板金工等）は、電子制御装置整備に従

面積が変更の場合は事業場平面図も添付
数値は小数第１位までとし、小数第２位を切り捨て

3　屋内作業場の面積の変更

屋内現車作業場	４０５．３ m^2	その他の作業場	２７．５ m^2
電子制御装置点検整備作業場	２８２．９ m^2	車両置場	３６６．０ m^2
		完成検査場	８０．６ m^2

（注）対象とする自動車の種類を拡大する場合にも記載すること

既存、変更の機器すべて記載し、
変更の場合は校正証明書等の写しを添付
※検査用スキャンツールは除く

4　自動車検査用機械器具設備の変更

	検査機器の名称	数	型		
	ホイール・アライメント・テスタ				年　月　日
○	サイドスリップ・テスタ	1	ＳＳ－２０２０	３，０００ｋｇ	令和　3年　3月　3日
	ブレーキ・テスタ	1	ＢＳ－２０２０	３，０００ｋｇ	令和　3年　3月　3日
	前照灯試験機	1	ＨＬ－１９９９		平成　11年　11月　11日
	音量計				年　月　日
○	騒音計	1	ＳＭ－１９９９		平成　11年　11月　11日
	速度計試験機	1	ＢＳ－２０２０	３，０００ｋｇ	令和　3年　3月　3日
	一酸化炭素測定器	1	ＥＧ－１９９９		平成　11年　11月　11日
	炭化水素測定器	1	ＥＧ－１９９９		平成　11年　11月　11日
○	黒煙測定器	1	ＤＳ－１９９９		平成　11年　11月　11日
○	オパシメータ	1	ＯＭ－２０２０		令和　3年　3月　3日
	検査用スキャンツール	1	ＳＴ－２０２４	ドライバVer.○○ ファームウエアVer.○○	令和　6年　8月　30日

（注）検査機器の名称欄は、□枠内の該当する

型式・ドライババージョン・ファームウエアバージョンを記載
※認定機器は一般社団法人日本自動車機械工具協会ＨＰ参照

5-①　検査施設の共同使用

共用設備事業場	事業場の名称	株式会社　○○○○ △△営業所
	所在地	○○県○○市 ○○町○○－○－○
	管理責任者の氏名	国土　次郎
当該共用設備までの自動車による所要時間		６０　分

検査設備を共同使用

5-②　共用設備事業場の最近３ヶ月間における月平均の車種別
［令和　2年　1月　1日 ～ 令和　2年　3月 31日］

新たに共用を開始する場合、
共用先の実績も作成する

車種別	車検整備	定期点検整備	その他の整備	車種別	車検整備	定期点検整備	その他の整備
普通（大型）	0　台	0　台	0　台	小型四輪	40　台	31　台	4　台
普通（中型）	0　台	0　台	0　台	小型三輪	0　台	0　台	0　台
普通（小型）	0　台	0　台	0　台	小型二輪	0　台	0　台	0　台
普通（乗用）	30　台	20　台	5　台	軽	20　台	22　台	4　台
大型特殊	0　台	0　台	0　台	計	90　台	73　台	13　台

5-③　共用設備事業場の自動車検査用機械器具調

共用先の既存、変更の機器すべて記載し、
変更の場合は校正証明書等の写しを添付
※検査用スキャンツールを除く

	検査機器の名称	数	型　式		
	ホイール・アライメント・テスタ				
○	サイドスリップ･テスタ	1	ＳＳ－２０２０	３，０００ｋｇ	令和　3年　3月　3日
	ブレーキ・テスタ	1	ＢＳ－２０２０	３，０００ｋｇ	令和　3年　3月　3日
	前照灯試験機	1	ＨＬ－１９９９		平成　11年　11月　11日
	音量計				年　月　日
○	騒音計	1	ＳＭ－１９９９		平成　11年　11月　11日
	速度計試験機	1	ＢＳ－２０２０	３，０００ｋｇ	令和　3年　3月　3日
	一酸化炭素測定器	1	ＥＧ－１９９９		平成　11年　11月　11日
	炭化水素測定器	1	ＥＧ－１９９９		平成　11年　11月　11日
	黒煙測定器				年　月　日
○	オパシメータ	1	ＯＭ－２０２０		令和　3年　3月　3日
	検査用スキャンツール	1	ＳＴ－２０２４	ドライバVer.○○ ファームウエアVer.○○	令和　6年　8月　30日

（注）検査機器の名称欄は、□枠内の該当するものに○を記載すること。

型式・ドライババージョン・ファームウエアバージョンを記載
※認定機器は一般社団法人日本自動車機械工具協会ＨＰ参照

備考	